

浙江省 2018 年 10 月高等教育自学考试

高级日语(二) 试题

课程代码:00610

请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

选择题部分

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

2. 每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一、次の_____に入れるものとしてもっとも適当なものを、A・B・C・D の中から一つ選びなさい。(1×20=20 点)

- 川沿いの道に沿って通勤や通学のために必要な自転車が_____と立ち並んでいる。
A ちらり B ゆったり C ぎりぎり D びっしり
- 遠足の前の日、うれしくてみんな_____している。
A はらはら B そわそわ C くずくず D ぶわぶわ
- 彼は他の人間たちに繋がれているロープのおかげで_____立っているように見える。
A まさか B おおまか C どうせ D どうか
- 出会った頃は誠実だったのに、付き合っていたらいつの間にか女に_____男に変わっていた。
A こまかい B みっともない C だらしない D あぶない
- いくら航空運賃が安くなったといっても、庶民にとってヨーロッパ旅行は_____高嶺の花だ。
A 所以 B とても C どうも D 所詮
- いつもどおり普通の住宅地の_____風景がそこに広がっているだけだ。
A ぱっとしない B ありえない C さりげない D あっけない
- 小さな個人商店を世界的な企業にまで成長させた H 氏は、自分の人生を失敗の_____だったと語ったことがある。
A 連続 B 結果 C 始末 D 結晶
- 顔面神経麻痺という病気で、悪化すると顔が_____そうだ。早期発見をしたので、治るみたい。
A 崩れる B ゆがむ C 曇る D 変わる
- 四季折々のお体を_____皆様のご利用をお待ちしております。
A いとしむ B 愛する C おしむ D 可愛がる

10. 田中さんが今これほど高い家賃を払えているところ____、彼の給料は相当いいはずだ。
A かくして B まして C からして D はたして
11. 私____は、いくら本を読んでいたって、今、どんな景色で、どんな花が咲いているかぐらいはちゃんと知っていてよ。
A なんぞ B なんて C なんか D なんて
12. 誰でもものの____でうそをついてしまった経験が一度はあると思う。
A あたり B ところ C まわり D はずみ
13. あのとき彼女がそう言ったなら、僕はどんなことをしてでも助けた____。
A だろう B だろうに C だろうか D だろうが
14. 自分では分からなかったが、手だけではなく全身が、____すさまじい悪臭を放っていたことだろう。
A なんぞ B なんだか C さぞかし D なにか
15. 予測市場の活用という点で yahoo は Google とほぼタメを____ていると言える。
A 敵っ B 張っ C 優っ D 上回っ
16. ブームの収束と共に芳賀はふたたび工場に戻れることとなった。____1983年、芳賀はいよいよ念願のロボット開発に乗り出した。
A たいして B まして C けっして D かくして
17. あたかもその事件を見ていた____電話のベルが鳴り、今日の行事が中止になったことを知らせてきた。
A そうに B のように C かのよう C におりに
18. 美術館に入ると、あの名人の絵を見つめた____まばたき一つしない。
A とたん B きり C どころで D なりに
19. パチンコ打ち____せいで160万あった貯金が50万になった。
A あげた B 尽くした C まくった D なおした
20. 伝説の女優と言われていたのが3年前で、いまでは過去の栄光は見る____という。
A 姿もない B 影もない C 価値もない D 跡もない

二、次の解釈にふさわしい諺をA・B・C・Dの中から一つ選びなさい。(2×5=10点)

21. うわさや情報などをちらりと聞く
A 耳に立つ B 耳に挟む C 耳に付く D 耳が早い
22. 互いに打ち解けて親しく話し合うようす。
A 膝を交える B 膝を折る C 膝を崩す D 膝を進める
23. 不快などから表情をゆがめる。
A 眉に唾を塗る B 鼻にかける C 顔をしかめる D 頭をはねる
24. いかなる困難にも耐え抜こうと覚悟を決めて仕事に打ち込むこと。

A 性根を据える B 意地を張る C 青雲の志 D 精が出る

25. 相手を助けるために力を貸すこと。

A 手を借りる B 鬼に金棒 C 虎につばさ D ひと肌ぬぐ

三、次の文書を読んで、後の問いに答えなさい。(2×10=20点)

京都を主にした連作を描いたころのことである。円山公園の夜桜として知られている。あの、しだれ桜の満開の姿と、春の宵の満月が①呼応する情景を見たいと思った。

四月十日頃だったか、その夜が十五夜であることを確かめて京都へ向かった。昼間、円山公園へ行ってみると、幸いに桜は満開であった。春の日差しが今宵の月夜を約束する②かのように明るかった。夕方までの時間を寂光院や三千院を訪ねて過ごし、頃あいを見て京都の町へ帰ってきた。

下鴨あたりだったか、(③)、車の窓から⑦のぞくと、東の空に、ぼっかりと、円い大きな月が浮かんでいるのではないか、私は驚いた。円山の桜を前にして東山から顔を出したばかりの月が見たかったのであって、空高く月が登ったのでは意味がなくなってしまう。大原で時間を取り過ぎたことが悔やまれた。

円山公園へ急いで④たどり着くと、私は、ほっと一息ついた。ここでは山が間近であるため、幸いに月はまだ姿を見せていなかった。紺青に暮れた東山を背景に、この一株のしだれ桜は、淡紅色の華麗な粧いを枝いっぱいに着けて、京の春を一身に集め⑥つくしたかに見える。しかも、地上には一片の落花もなかった。

山の頂が明るみ、月がわずかにのぞき出て、紫がかった宵空を静かに⑤のぼり始めた。花はいま月を見上げる。月も花を見る。この瞬間、ぼんぼりの灯も、人々の④雑踏も跡かたもなく消え去って、ただ、月と花だけの清麗な天地となった。

これを巡り合わせというものであろうか。花の盛りは短く、月の盛りと出会うのは、なかなか難しいことである。また、月の盛りは、この場合ただ一夜である。もし、曇りか雨になれば見ることができない。その上、私がおの場に居合わせなければならない。

これは一つの例に過ぎないが、どんな場合でも、風景との巡り合いは、ただ一度のことと思わねばならぬ。また、それを見る私たち自身も、日々移り変わっていく。生成と⑥衰滅の輪を描いて変転して(④)宿命において、自然も私たちも同じ根につながっている。

花が永遠に咲き、私たちも永遠に地上に存在しているなら、両者の巡り合いに何の感動も起こらないであろう。花は散ることによって生命の輝きを示すものである。花を美しいと思う心の底には、お互いの生命をいつくしみ、地上での短い存在の間に巡り合った喜びが、⑥無意識のうちにも、感じられているに違いない。それならば、花に限らず名も知らぬ⑦路傍の一本の草でも同じことではないだろうか。

風景によって、⑤心の眼が開けた体験を、私は戦争の最中に得た。自己の生命の火が、間もなく確実に消えるであろうと自覚せざるを得ない状況の中で、初めて自然の風景が、充実した命あるものとして眼に映った。強い感動を受けた。

それまでの私だったら、身向きもしない平凡な風景ではあったが。

また、戦争直後、全てが貧しい時代に、私自身も、どん底にいたのだから、冬枯れの寂寞とした山の上で、自然と自己とのつながり、緊密な充実感に目覚めた。切実で純粋な祈りが心にあった。

風景画家として私が出発したのは、⑥このような地点からであった。その後の「道」にしても、ただ、画面の中央を一本の道が通り、両側に草むらがあるだけの、全く単純な構図で、どこにでもある風景である。しかし、そのために中に込めた私の思い、この作品の象徴する世界が、かえって多くの人々の心に通うものらしい。誰もが自分が歩いた道としての感(⑦)をもって見てくれるのである。

国立公園や名勝と言われる風景は、それぞれすぐれた景観と意義をもつものであるが、人はもっとさりげない風景の中に、親しく深く心を通わせ会える場所が見出されるはずである。

【問い】

26. 下線部①「呼応する」の意味にもっとも合うものを A・B・C・D から一つ選びなさい。
- A 花の盛りは短く、月の盛りも数日だけである。
B ぼんぼりの灯も、人々の雑踏も跡かたもなく消え去る。
C 花が永遠に咲き、私たちも永遠に地上に存在している。
D 花はいま月を見上げる。月も花を見る。
27. 下線部②「か」の使い方に当てるものとしてもっとも適当なものを A・B・C・D から一つ選びなさい。
- A 疑問を表す B 類似を表す C 詠嘆を表す D 願望を表す
28. (③)に入れる接続詞として、もっともふさわしいものを A・B・C・D から一つ選びなさい。
- A ふと B さりげなく C そっと D さっと
29. それぞれ下線部④—⑩の平仮名に付ける漢字として、もっとも適当なものを A・B・C・D から一つ選びなさい。
- A ④除、⑤巡、⑥付、⑦登 B ⑦窺、⑧辿、⑨直、⑩上
C ⑦覗、⑧辿、⑨尽、⑩昇 D ⑦伺、⑧巡、⑨尽、⑩昇
30. それぞれ下線部⑪—⑯の漢字を平仮名になおすものとして、正しいものを A・B・C・D から一つ選びなさい。
- A ⑪ざっとう、⑫すいめつ、⑬むいしき、⑭ろぼう
B ⑪ざっと、⑫すいめい、⑬むいしき、⑭ろぼう
C ⑪ざっとう、⑫すいめつ、⑬ふいしき、⑭ろぼう
D ⑪ざった、⑫すいめい、⑬ぶいしき、⑭ろうぼう
31. (④)に入れる助動詞としてもっともふさわしいものを A・B・C・D から一つ選びなさい。

A ゆく B いる C くる D ある

32. 下線部⑤「心の眼が開けた」とあるが、その意味に最も近い言葉はどれか。

A 心が動いた B 心に響いた C 深く目覚めた D 目に映った

33. 下線部⑥「このような地点」にいう状況としてもっとも適当なものを A・B・C・D から一つ選びなさい。

A それまでの自分が、身向きもしない平凡な風景ではあったことを知った。

B 花が散ることによって表れる生命の輝きに感動した。

C 寂寞とした山の上で、自然と自己とのつながり、緊密な充実感に目覚めた。

D 自己の生命の火が、間もなく確実に消えるであろうと自覚した。

34. (⑦)に入れる漢字として最も適当なものを A・B・C・D から一つ選びなさい。

A 情 B 想 C 覚 D 慨

35. 文章から見える筆者の考えに、最も近いものを A・B・C・D から一つ選びなさい。

A 画家として、徹底的にしだれ桜の満開の姿と春の宵の満月が呼応する情景を絵に描くべきだ。

B 人は名勝のような風景にだけではなく、普通の風景の中にも、自然との親しさが見出すことができる。

C 花を美しいと思うのは、それと出会うのがなかなか難しいことであるから。

D 単純な風景を画けば、かえって多くの人の心に通うに違いない。

非选择题部分

注意事项:

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

四、次の文の下線漢字に振り仮名をつけなさい。(1×10=10点)

36. あふれ出た水は小さな野川をなして、田んぼの間を子守歌のようなやさしい音色をたてて流れていた。

37. 空気ははっとするほど新鮮で、あたりには静寂が満ちていた。

38. 静信は事務所の黒板に向かい、チョークを取って躊躇したあげく、結局、何も書かずにそれを戻した。

39. 総意が見えずに自分の意見に拘泥する受験者を見捨てることがプラスの評価になると誤解している場合も同じだ。

40. バスに乗った14人が死亡した事故で、バスの運行会社の杜撰な管理態勢の実態が次々に明らかになってきた。

41. ダンスは男女間の享楽的な雰囲気や冗長し、性道德の紊乱と社会の善良の風俗に影響を及ぼす可能性のあると見なされてしまったのだ。

42. 身体を乗り出すようにしながら、そちら側の山の端にその辛夷の白い花らしい者を見

つけようとした。

43. 彼女は魔法が使えることも忘れてしまって引きずっているレースのカフスを燃やしそうになりながら不器用な手つきでローソクを灯しているように見えた。
44. その時の私は父の前に存外おとなしかった。
45. 近年では秋葉講や参拝客の減少、役員の高齢化、神殿の施設・什物の老朽化などが課題となっていた。

五、次の文の下線カタカナの部分に漢字に直しなさい。(1×10=10点)

46. 「古今の人相遠からず」ということから、各色人種の等しき事、「性相近し」に説き及ぼし、遂に学生と官僚の上に及んで大議論をユウハツした。
47. 教師の立場で学生の答案を読むとレイアウトの巧拙がレキゼンとする。
48. 親の階層(職業や所得)の不利さが子供の学歴達成にシショウとなることを考えてみよう。
49. もっとドンヨクで荒々しく、しかも狡猾に身を潜め、背後から忍び寄ってくる何かだ。
50. 今日は最近大人気のシニセ和菓子店、さくら屋にお邪魔しております。
51. 二年ぶりの再会で、テッショウ友と酒を酌み交わしていた。
52. 仕事を要領よく押しつけてくる同僚や、よく考えもせずに業務を丸投げしてくる上司に対して、以前にも増してイラダつようになった。
53. その二つの行為はそれぞれに対立する目的を持ち、それぞれにアイイれない方法を要求する。
54. 清美は笑ったが、その笑顔は、やはりどこかコワバっていた。
55. このままでは、食糧危機が来たとき、日本の将来はアヤうい。

六、次の文を中国語に訳しなさい。(3×5=15点)

56. パッと見ただけでは把握し切れない裏メニューのようなものが用意されていたり、季節毎にお楽しみが入れ替わることによって、「また行きたい」というリピート心は刺激されるのです。

57. 近代文明は四季があること自体を、めんどろな事とみなしてしまった。だから一年じゅう室温の変わらない工場をつくり、一年じゅう変わらない生活のリズムをつくりあげた。そしてそのことによって、私たちはしだいに自然を忘れていった。

58. 虫を殺すことをよくする自分であるが、その気が全くないのに殺してしまったのは自分に妙な嫌な気をさした。

59. 今はフェンスを高く張っても、空き瓶とか、空き缶とか、発泡スチロールの箱や、ビニール袋などが絶えず投げ込まれ、ある猥雑な汚らしさを見せている。

60. もう木曾路ともお別れだ。気まぐれな雪よ、旅人の去った後も、もう少し木曾の山々に降っておれ。もう少しの間でいい、旅人がお前の雪の降っている姿をどこか平原の一角

から振り返ってしみと見入ることができるまで。

七、括弧中の言葉を使って次の文を日本語に訳しなさい。(3×5=15点)

61. 如果不是去年因病休学，现在早就工作了。(相違ない)
62. 秋天有秋天的好处，到处都弥漫着稻子的香味。(体言は[も]+同一体言で)
63. 两个美国大学生发明的灭火器，也许可以改变灭火的历史。(ことによると)
64. 虽然有点担心会不会有高山反应，还是开始了去西藏的旅行。
(動詞の連用形+はしまいか)
65. 这是旅行时随心所欲拍下的日本自然风光的影集。(気にむくままに)